時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼附する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

政治以外の功勞を表彰す可し

英國倫敦よりの近報に據るに兼ねてエミン　パシヤ救助の爲め亞弗利加內地に赴きたるスタンレー氏は土蠻の間よりエミン　パシヤを救ひ出して首尾よく使命を全ふし今度倫敦に歸着したりと云ふ是れより先き故ゴルドン將軍の裨將にエミン　パシヤと云ふものあり將軍の命に從て一方の遠征軍を指揮したりしが先年將軍戰歿後も引き續て長驅深入を事とし一朝蠻人の圍中に陷りて死生も定かならざりしかば歐洲一部の志士仁人の間にエミン　パシヤ救助說を出し大探撿者スタンレー氏は獨て其救助使に任じて深く亞弗利加の內地に踏み入り率ふる所の數百騎中、瘴煙癘霧、猛獸毒蛇、野蠻人の鋒鏑に斃たる者、殆んど三分の一にも及たれども健鬪千里終にエミンの圍を解き且其內地の事情を探りて人跡未だ至らざるの地を遍歷し共に首尾よく凱旋したるは天晴れ暗黑世界にまで文明の一使節とも稱す可きなり左れば氏の歐洲大陸を經て英國倫敦に歸着するや沿道到る處の國々は上は國王宰相より下匹夫匹婦に至るまで共に其功を偉なりとして歡迎優待せざるものなく英國にては女皇陛下が先づ御陪食の榮を賜ひ折も折とて倫敦にては恰も交際季節に際して何人か此社會の大立物たる者を得んとする最中なればスタンレー氏の歸着こそ仕合なれ其處の宴會、彼處の饗應、同氏を賓客中の最上位に仰ぐ待遇振りは外の視る眼も羨ましく現に倫敦の交際家中にては氏をLion of the Season（當季節の獅子王）と稱する由、又或る新聞紙の如きスタンレーナムバーと唱へて氏の使命を全うしたる顚末の記事を特別に印刷して配布したるものあり商家は廣告にスタンレーの名を假りスタンレー香水、スタンレー煎餅など云へる名目の社會に出現するに至りたる其評判の高くして榮譽の盛なると如何ぞや蓋し此スタンレー氏はエミン　パシヤ救助會と稱する私の會合の使節にして直接政府に關係あるに非ず且つ其世間に重んぜらるゝはエミン　パシヤを虎穴に索めて之を救ひたる武勇のみに非ず從來亞弗利加の內地なる探撿其人なきに非ざれども固より廣漠茫昧にして道德家は唯賣奴の弊ありと聞くのみ未だ其條狀を審かにせず地理學者は暗黑地方など稱して地圖面に尙不思議界を存するが故にスタンレー遠征の結果たる此等道德家地理學者に向て裨益を與へたると疑を容れず今度英國地理學會にてスタンレー氏の爲に大饗宴を開き稀有の賞牌を贈與したるが如き即ち之れが爲にして要するに氏の功勞は政治以外に赫々たるものなれども社會の之を珍重すると前條の如く昨日九死一生の死に入り胡歐の發落に起るを聞き猛獸の歲月に嘯くを見て備さに辛楚を嘗めたるものも今日功成りて錦を飾れば萬衆の歡迎優遇を受け交際社會に持て囃されて衣香扇影中に上客たるの榮譽を得べきが故に男兒宿昔の志、此の榮譽を得んとして事功に勇み偉業を遂ぐるも亦謂れなきに非ざる可し顧みて我國の有樣を見るに功名榮譽は政治上に集まり榮譽の源泉たる王室の餘澤も亦專ら政治界を潤して政治以外の部分には常に乾燥を覺ゆるが如き我輩の每度慨見する所にして例へば政府部內の人が洋行若くは歸朝などの折には謁見並に賢所參拜等の特典を得れども商工實業に關係して視察若くは企業の爲め海外各地に赴きたる者、或は功成りて歸朝したる者、凡そ此類の人々にては平素その社會に重んぜられ位地品格共に卑しからざる者にても右等の恩榮に潤ひたるを見ず尤も此流の功勞に對して推奬敬重の念なきは獨り政府のみならず民間一般、亦翕然らざるはなく例へば今我實業家中に一種奇傑の士人ありて單身濠洲地方に赴き物產を探り市場を求め或は深く內地に入りて後來我貿易事業の爲めに新路を開きて歸りたる者ありと假定せば如何、其知己朋友は之を賞せん、新聞記者は爲めに一二行の雜報を揭げん、左れども我交際社會は未だ見ず知らずの人あるにも拘はらず宴を開て共に之を歡迎す可きや地理學會は其勞を謝して爲めに賞牌を贈る可きや政府部內の人々は之を至尊に奏聞して拜謁若くは御陪食の榮を與ふ可きや從來の事歷に徵すれば我輩その然るを期するこ能はず之を要するに我國民は政治以外に功勞あるを知らず之を知るも之を重んずるの道を得ず官民共に政治以外の功勞を表彰して之れに酬ゆるに十分の榮譽を以てするの意なきが故に榮譽ある事業には人氣も少なく士人政治を外にして事功を求めんと欲するものなく却て今日我國の實際、實業上に力を用ゆ可きもの甚だ多きにも拘はらず眞實の社會の忠臣として事に當る者を得がたきことあれ誠に痛惜す可き次第にして今日の急務は政治以外の功勞に成可く榮譽報酬を增して實業上に人氣を引き立つるの一事に在りと云ふも可ならん即ち我帝室の如き實に榮譽の源泉にして之を國民に潤澤するに政治と云ひ實業と云ひ其人と事とに因りて厚薄を立つ可き謂れなく勳章は申すに及ばず拜謁と云ひ御陪食と云ふ等國民の面目たる可きものは政府部內に限らずして廣く全般に普遍せざる可らざるは勿論、又一般國民も政治以外の功勞に榮譽の報酬をなすを忘れず上下共に心を盡くして實業以下民間各般の事業に對し其品位を加ふるの覺悟あらんこと我輩が念々國の爲めに祈る所なり

雜報

○皇太子殿下　は去る十一日より九月十日迄學習院夏期休業に付御休學あらせらるゝ由

○伏見宮の慰勞　第三回內國勸業博覽會總裁宮殿下は一昨十二日午前八時午後一時の兩度に博覽會事務局員審查部員、府縣委員、出品人等總員千七百名を芝離宮に召して左の如き慰勞の詞あり一同に扇子一面及茶等を賜り且芝離宮の拜觀を許されたるよし折柄寫眞師松崎晋二氏の願により殿下を始め一同撮影したりと云ふ

第三回內國勸業博覽會の開場以來既に一百日を經過し昨日は天皇陛下親臨褒賞授與式を擧行せられ殊に優渥なる勅語を賜はりしは實に臣民の榮譽之れに過ぎざるなり予曩きに本會に總裁たるの命を辱ふし夙夜其職を曠くせんことを恐れしも幸に　聖德の庇蔭と本會諸員諸子の補翼は勿論地方長官及び出品諸子が各其義務を盡せしにより首尾能く昨日の盛典を了りしは諸員諸子に向て其勞を謝し出品諸氏に向て深く其志を賞せざるを得ず自今益々力を殖產興業に盡し國家殷富の基礎を固めんと欲す諸子宜く聖意を遵奉し愈々以て其業務に奮勵あらんことを望む又本日は諸子をして舊離宮を拜觀せしむるの許可を得たり因て玆に茶菓を備へ互に其胸襟を拔き談笑半日の遊を共にせんと欲す聊か以て諸子が積日の勞を慰するを得ば予深く滿足する所なり

○農商務次官に四難あり　農商務次官の欠任は日已に久しく新聞紙上に候補者を出すこと亦た少からず今度こそは慥かに任命あるべしと聞えたる林兵庫縣知事も聞く所に據れば辭退するよしにて遷延今に定らざることなるが同省の事情に委はしき人は同省次官の任命を承諾するもの少きも道理なり同次官の地位には四個の大難あり第一は同省許りにあらざれども全體次官なるものは上大臣の命を承け下局長の意見を聞きて事を處せざる可らずして料理店にて言はゞ仲居同樣隨分見えぬ處に苦勞ある役目なること、第二は同省の大臣は從來其席暖かならざるの常例あれば今後も不意更迭圖られ難くして其更迭と同時に次官も進退を決せざる可らざる恐あること、其第三は現任陸奥氏は評判の切れ者にして何から何まで注意行き屆き現に同省中の評判にも是迄幾多の大臣入り替りたれども陸奥氏程鋭敏にして事の分り早きものなしと云ふ程なれば次官は全くの置物同樣何事も其意を行ふこと能はざる事、其第四は他省と違ひ同省の事務は各局おの〳〵專門の實業にして飛入の次官容易に事務の梗概を得ず少くも二箇年位は山林の事は山林局長に、鑛山の事は同局長に其他商工、農務何れも其局長に對して考案相及ばざるものありて心苦しきことと是れなるべしと云へり事實果して如何にや

○子爵者の次點　十一日開票を終りたる子爵撰擧の當撰者は既に報せしが其次點者は當撰者承諾なき時は直ちに當撰の都合にて此の次點者（即ち高點者）は最も要用なる可ければ左に其四十九名を揭出す

百三十五	北條氏恭
百二十四	東園基愛
百二十一	河鰭實文
百十九	大村純雄
百十七	平松時厚
百十三	細川興貫
百六	秋田映季
九十六	長谷信篤
八十	京極高德
七十九	澤經承敍
七十八	櫻井忠貞
七十二	岩下方平
七十四	本莊宗武
七十二	本田實方
六十四	堀河康隆
六十一	內田正學
五十七	樺山資紀
四十九	毛利元敏
四十八	加藤泰秋
四十七	一柳紹念
四十六	有馬道純
四十六	大久保教義
四十三	鍋島直柔
四十二	稻葉久通
四十一	本多忠敬
百廿五	唐橋在正
百廿三	稅所篤
百十九	一柳末德
百十九	鍋島直虎
百十五	日野西光善
百九	伊東祐麿
九十八	土方雄志
八十二	松平康民
七十九	久留島通篤
七十九	本莊壽巨
七十八	大久保忠順
七十七	松本定敬
七十四	織田信親
六十六	黑田和志
六十四	戸田忠行
五十九	加藤明實
五十九	富小路敬直
四十八	高松實村
四十八	小笠原壽長
四十七	太田資綱
四十六	植松雅平
四十五	阿部正功
四十二	前田利[illegible]
四十一	冷泉爲柔

○英國現內閣の困難　近頃英國現內閣の位地は是迄の如く鞏固ならず之に反してグラッドストーン氏の總理する自由黨の勢力は日々に增加するものと見え去月十二日倫敦發の報に據れば現政府は特許問題、十分一稅及び愛蘭土地買上に關する三大議案をして國會議場を通過せしむること困難なるが故に國會の現狀に就き熟議する所あらんとて當日午後保守黨の大會をカールトン俱樂部に催し總理大臣ソールズベリー侯議長席に着き其他の內閣員も列席したれども喝采して之を歡迎するもの多からざる樣子にて侯が國會の現狀を述べ今日の武器を以て反對者と鬪爭し難きを論じ兼ねて下院の

規則を改革し
さんとの方案
平常首領の提
黨員の集會に
大に驚き當日
蓋し右の如く
して果は政府
ン氏の一派は
りも一層總撰
保守黨の首領
も何人が其後
ン氏が之に代
かるべし下院
んと云ふもの
閣の位地を動
十三日倫敦發
らず昨日カー
は一大事なり
員三十名計り
て分離せし事
ガッツン氏が
英獨兩國政府
明を與る能は
用も厚から
にも拘らず關
も爲に在野黨
の首領スミス
に若められ近
するの念、切
ッシヱンと
んとて競爭し
て當分現今の

○鑛山局の
鑛山事業は如
九州部、中國
までを込めて
以北）北海部
視出張を命
鑛業監督所
りと云ふ

○朝鮮の撿疫
と認め同港
八百八十七年
由一昨日の本
を揭げて世人

朝鮮通商
第一條　凡ソ
論セス皆タ
第二條　既
論スヘカラ
第三條　若シ
チノ州
第四條　若シ
港ニ進入シ
八撿疫委員
此撿疫規則
ト往來交
第五條
港所ニ
第六條　以上
組員及船
陸ノ免
第七條